

本の紹介：

「理工系学生のためのキャリアデザイン」、キャリア教育研究会編

学芸出版社（2013年4月15日刊） 2014年1月31日 井田 晃記

「キャリアデザイン」という言葉は、雇用形態が「終身雇用制」から「実力主義」へと移行し、また企業内における人員削減、人材の外部調達、企業買収・合併などによる従来の処遇の崩壊、ITの進歩による業務処理の高度化・集中化などビジネスパターンの変化を背景に、より認識されるようになった。

そこで自分の夢や目標を立て、それを叶えられるよう技術や考え方を身につけなければならない。また、会社にあっては、会社の望む方針や行動と自分を適合させる努力も必要となる。そのため、常に客観的に自身を見つめ、保有技術を高めたり新技術を習得することになる。

自信の将来ややりたいことなどを考え、その実現のために学生時代を準備する好機と捉え本書は以下について取り上げている。

1. キャリアデザインと大学での学び
2. 自分のアピールポイントを知る
3. 社会の現状と職業者会を知る
4. コミュニケーション力
5. 技術者として進路を考えよう

以上について自分自身を棚卸・点検することは、就職活動におけるエントリーシート作成にも通ずるものがある。またクラブ活動は、コミュニケーション力練成の機会と捉えることも出来る。

少子・高齢化が進み労働人口確保のため、就業年齢も高齢化し再就職も常態化する中、キャリアデザインは学生だけの問題ではない。企業で主役を後輩に譲った後も絶えず自身の就業能力を高める努力が必要となるといえる。

contents

第1章 キャリアデザインと大学での学び..... 9

- ①キャリアデザインとは 10
 - 1-1 本書の目的 11
 - 1-2 キャリアデザインを学ぶ目的 12
 - 1-3 キャリアデザインで考えること 16
 - 1-4 自分で夢・目標を描く 17
 - 1-5 人生における働く意義を考える 19
- ②大学で自ら考え、自ら学ぶ力を向上する 22
 - 2-1 学びの目的 22
 - 2-2 学びの構造 31
 - 2-3 自ら行動する力をつける 33
 - 2-4 自主的な学び 36
 - 2-5 学びのポイント 41
 - 2-6 学びの時期を考える 45
 - 2-7 夢の実現に向けて業界をみる 48
 - 2-8 技術者として活躍するために 53

第2章 自分のアピールポイントを知る..... 55

- ①自分を知ることの基礎 56
 - 1-1 自分のアピールポイントを知る方法 58
 - 1-2 個性とは 59
- ②自己分析作業で自分を知る 60
 - 2-1 ライフライン（自分史）を描く 60
 - 2-2 価値観を確認する 62
- ③他者からのフィードバックを受け、自分を知る 68
 - 3-1 グループワークの進め方 68
 - 3-2 ジョハリの窓 70
- ④検査データで自分を知る.. 71
 - 4-1 職業適性を知る（一般職業適性検査（GATB）） 71
 - 4-2 職業興味を知る（VPI 職業興味検査） 76
 - 4-3 性格特徴を知る（Y-G 性格検査） 78

第3章 社会の現状と職業社会を知る..... 81

- ①社会を知る 82
 - 1-1 働く意義 82
 - 1-2 働く環境 87
- ②科学技術と社会 92
 - 2-1 技術の進歩が世界を変える 93
 - 2-2 日本の技術の役割と変化 95
 - 2-3 市場・生活者の価値観の変化 96
 - 2-4 日本の技術の現状 97
- ③グローバル化と技術者の働く場の変化 99
 - 3-1 グローバル化と日本 99
 - 3-2 業界のトレンドをつかむ 103
 - 3-3 働く場の状況 106
- ④職業社会の求める要件 110
 - 4-1 社会が企業に求めるもの 110
 - 4-2 技術者に求める能力 112
- ⑤社会人基礎力 113
 - 5-1 社会に出る前につけるべき力 113
 - 5-2 入社選考で重視した点 115
 - 5-3 社会人基礎力の位置づけ 116

第4章 コミュニケーション力..... 117

- ①コミュニケーション 120
 - 1-1 スムーズなコミュニケーションを始めるには 120
 - 1-2 コミュニケーションは挨拶から 121
 - 1-3 敬語の使い方 122
 - 1-4 大学の学びにおけるコミュニケーション 123
- ②「きく」 124
 - 2-1 上手な聴き方 125
 - 2-2 聴く、話すのは言葉だけではない 126
- ③話す 127
 - 3-1 上手な話し方 127
 - 3-2 アサーション 128

3-3 プレゼンテーション 129

- ④書く 130
 - 4-1 書くとは 130
 - 4-2 レポート・論文の書き方 131
 - 4-3 ノート、メモの書き方 133
 - 4-4 読むこと 133
- ⑤企業活動におけるコミュニケーション 134
 - 5-1 技術者としてのコミュニケーション 134
 - 5-2 職場でのコミュニケーション 135
 - 5-3 技術者のコミュニケーションツール 136
 - 5-4 報告、連絡、相談 136
 - 5-5 企業の社会的責任（CSR） 137
 - 5-6 技術者としての倫理観 138

第5章 技術者として進路を考えよう..... 139

- ①進路を考えよう 140
 - 1-1 進路を考えるときに 140
 - 1-2 若者の就業意識 142
 - 1-3 進路選択のポイント 143
- ②企業の求める人材を知る 148
 - 2-1 会社・職場のキーワード 148
 - 2-2 職場での君は 150
 - 2-3 会社・職場での進路 152
 - 2-4 グローバル人材とは 155
- ③就職先を考えよう 156
 - 3-1 企業・会社とは 156
 - 3-2 企業を知る 160
 - 3-3 官庁とは 166
 - 3-4 優良中堅企業を視野にいれる 169
- ④先輩からのメッセージ 172
 - 4-1 建築・土木工学分野 173
 - 4-2 機械工学分野 174
 - 4-3 電気電子情報通信分野 175
 - 4-4 化学工学分野 176

資料2 業界の分類

業界の分類例（証券コード協議会における業種）

大分類	中分類	大分類	中分類
水産・農林業	水産・農林業	商業	卸売業
鉱業	鉱業		小売業
建設業	建設業	金融・保険業	銀行業
製造業	食品業		証券、商品先物取引業
	繊維製品		保険業
	パルプ・紙		その他金融業
	化学、医薬品	不動産業	不動産業
	石油・石炭製品		運輸・情報通信業
	ゴム製品		陸運業
	ガラス・土石製品(窯業)		海運業
	鉄鋼		空運業
	非鉄金属		倉庫・運輸関連業
	金属製品		情報・通信業
	機械	電気・ガス業	電気・ガス業
	電気機器	サービス業	サービス業
	輸送用機器		
	精密機器		
	その他製造		

資料 3 求人票の例

[illegible]